

「環境に優しい低炭素建材の創出」の研究テーマで  
令和5年度開始の奈良県研究開発支援補助金の補助事業者に採択されました

外装建材メーカーのケイミュー株式会社(本社:大阪市中央区、社長:木村均)は、このたび「環境に優しい低炭素建材の創出」という研究テーマで、令和4年度の奈良県研究開発支援補助金にかかる補助事業者に採択されました。

「奈良県研究開発支援事業」とは、奈良県が民間企業の行う研究開発を支援し、県内産業の基盤強化と新規産業の創出を図ることを目的として、令和2年度から公募している事業です。令和4年度で3年目となります。

地球温暖化抑制のため、日本では2030年までに2013年度比で温室効果ガスを46%削減する目標を表明しており、それにより企業に対しても挑戦的な取り組みが求められています。当社においては、2050年のカーボンニュートラル達成に向けて“グリーンビジョン”を策定し、2年以内のSBT(Science Based Targets)認証取得を環境省に対してコミットメントして進めています。今回の研究は、SCOPE3における脱炭素施策として推進する「低炭素な原材料・商品」の研究開発の一つです。令和5年度から3か年計画で、奈良県大和郡山市に所在する当社の研究開発拠点において研究を進め、5年内の上市を目指します。

#### ○ 研究テーマ

環境に優しい低炭素建材の創出

#### ○ 研究の概要

地球温暖化を抑制するため、世界的に温室効果ガス削減のための取り組みが求められています。本研究では、弊社が製造する窯業外装商品において、継続的な低炭素化を実現できる技術開発を進めます。その生成過程でCO<sub>2</sub>ガスを多く発生させる原材料に代わって、新たな硬化反応機構を有するバインダー(結合材)の開発を目指します。また同時に、生活産業や建築現場等で発生する廃材のリサイクル率を飛躍的に引き上げるための有効利用技術を開発することで、産廃量の削減を目指し、“環境に優しい低炭素建材”を創出いたします。

今後も当社は、脱炭素社会の実現に向けてさらなる省エネ活動、クリーンエネルギー化、革新的な技術開発に取り組むとともに、社会が抱える課題の解決を目指し、社会貢献に努めてまいります。

■ケイミューの環境への取り組み

<https://www.kmew.co.jp/co2/>